

認知症画像診断ツールの開発・実装

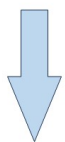
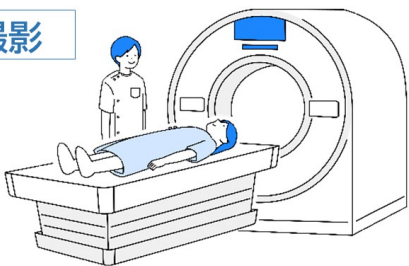
東京都健康長寿医療センター 認知症未来社会創造センター

認知症治療を支える国内初の画像診断支援ツールを開発し、診断の精度向上に寄与

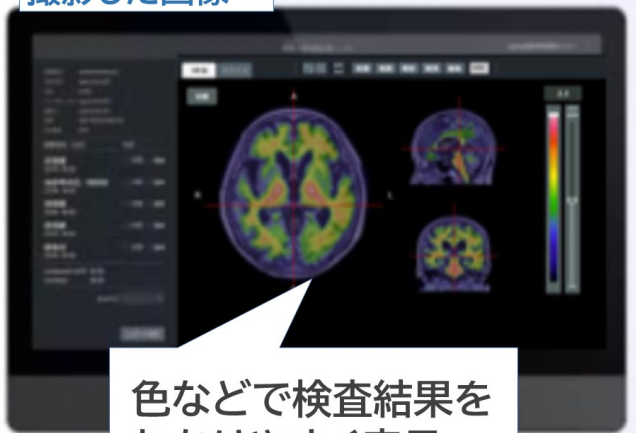
- 認知症治療においては、治療薬の投与に当たり画像検査を実施。画像の診断には高度な専門知識が必要であり、判別が困難な事例もあることから、診断する医師の負担が大きいことが課題
- 今回の研究でシステム画像診断を自動化し、色や数値でわかりやすく表示する診断支援システムを民間企業と開発
- 製品化したシステムは全国204施設で使用されている
(令和7年3月末時点)

開発した「認知症画像診断支援システム」

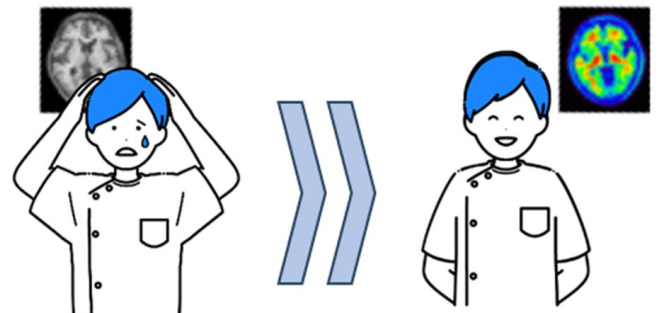
画像撮影



撮影した画像



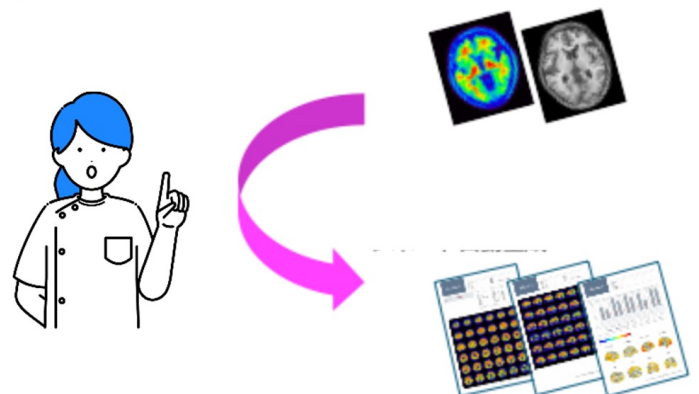
色などで検査結果をわかりやすく表示



読影困難例*の診断精度向上

*医師(読影者)によって判断が分かれる症例

レポートを自動で生成する機能も搭載



1例あたりの読影 10-15分⇒5分